



山下【大黒柱】:「今回の新人戦地区大会で個人種目は走高跳は7位、槍投げは5位とどちらも入賞することができました。しかしながら記録は思うようなものではなく、むしろどうしてこの記録で県大会に行けたのかと思うばかりです。県大会出場の嬉しさと記録が出せなかった自分への嫌悪感に苛まれました。リレーは県大会へ自信をもって進める記録が出たのではないかと思います。

さて、県大会への目標ですが、まずは走高跳で185cmを跳ぶこと。次に槍投げで自己ベストを出すこと。そして、リレーは準決勝へ残ることを念頭において戦っていきたいです。あと2週間もないですが、焦らず落ち着いて、自分らしく準備していきたいです。

チーム唯一の2年生、また部長として新人戦の反省を述べるとするならば、やはり新人戦でチームの弱みが出てしまったのではないかとことです。皆さんで強くなるには、短距離と長距離というように隔てるのではなく互いに鼓舞しあいながら高みを目指すべきだと思います。一方が墮落すればもう一方もそちらに傾く。そうならばチームとして強くあることはないでしょう。

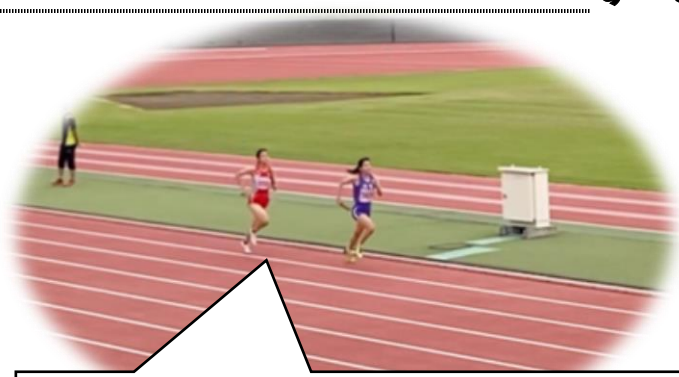
だからこそ新人戦の県大会はその後の公式戦も見据えた大会と捉えて努めていきたいと思っています。支えてくれる先生、マネージャー、後輩のためにも全員で戦い、全員で勝ちにいきます。」



結迎らといなでの習に文来くは間間候施人日
果え大は。こも調時は化た競何に帯がさ南(9月
にる会、自と、整間夕祭。技と雨(続れ部水7
つこを確分を市にもイが市をかに2くた地一
いと万実の言高な限トあ高行崩降日中。区の日
てが全にやい生つらでりはうれら目、不、予、兩、日(火
は出の行る訳はたれあ、こるれの競安選日(火
がににま本問うとだ記出、。すな陣。に優、の山岸
。焦順問負。とへれしかで、出定入に弾た4

さあ、いよいよ県大会です
納得のいく結果を糧に、県大会で勝負です

ら位がだこいの以悪けも地来の賞もみし0も、
ずを短。こう準上した県区た結を、を、0、
に誤い県かこ備にも試大大よ果果短つ県m、2
準らだ大らとが内重合会会うをた距大、H、年
備ずけ会がが整容要。のはだ出、す離た、会、
がににま本問うとだ記出、。すな陣。に優、の山岸
。焦順問負。とへれしかで、出定入に弾た4



春原【継承者】:「今回マイルで1人に抜かれてしまいせっかく繋いでもらった順位を守ることが出来なかったのが、次回は気持ちを強く持ち、前半にもっと勢いよく出て、繋いでもらった順位を守りたいです。」



吉川【マネ】【縁の上、いや下】:「地区大会お疲れ様でした。目標に向かって邁進するみんなはとってもかっこよくてドキドキしました。これからも間近でサポートできるのが嬉しいです。総合8位おめでとう！まだまだこれからです！応援しています。Go for it!!!」

山岸【埼玉の宝】:「400mは、前半から積極的なペースで入り、最後まで切り替えて走れて、自己ベストを更新することができてよかったです。
400mHは、予選では歩数を合わせることはできませんでしたが、決勝では最後まで予定通りの歩数で走れたのでよかったです。
マイルは疲れもあり、思うように走れなかったのが、本数を重ねてもしっかりと走れるようにしたいです。」

○ 関東選抜 於：茨城県笠松	十月二十三日(土) 二十四日(日)	○ 中間考査	十月十九日(火) 二十二日(金)	於：青木町公園 【短距離陣】	○ 川口市陸上競技記録会	十月三日(日)	○ 学校説明会	十月二日(土) 十六日(土)	○ 秋分の日	九月二十三日(木)	○ 防災訓練	九月二十二日(水)	○ 新人県大会 於：熊谷スポーツ文化公園	九月二十一日(火) 二十三日(木)	○ 社会人講演会(1年)	九月十八日(土)
-------------------	----------------------	--------	---------------------	-------------------	--------------	---------	---------	-------------------	--------	-----------	--------	-----------	-------------------------	----------------------	--------------	----------



武野【出来る男】:「100mの準決勝では、県大会を意識しすぎて固くなってしまいましたが、200mでは、予選→準決勝→決勝と反省点を修正しながら自分らしく走ることができました。前半から積極的に行ったことでカーブを抜けた時にスピードに乗れて、力を余すことなく走り切れました。マイルでは、練習と比べて前半の入りを速くしたことで、タイムを4秒縮めることができました。県大会でも自分らしい走りができるようにしたいです。応援、サポートありがとうございました。」

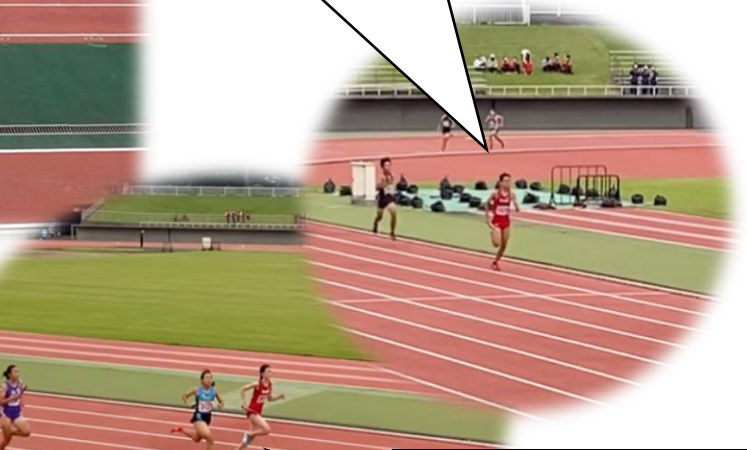
加計【春の主役】:「400mHでは『自分のできる走り最後までやり切ってやるぞ』と何度も自分に言い聞かせて臨みました。予選ではインターバルの走りが当初考えていた歩数よりも増えてしまったりと予定通りとはいきませんでした。決勝でも周りのレベルの高さからとても緊張していました。結果は予選よりもハードルの飛び方など反省点が多かったし、タイムもよくありませんでした。しかし自分よりも何秒も速い選手たちと走れるのはいい経験になりました。初めて走ったマイルではラップタイムがあまりよくなかったけれどチームの仲間がカバーしてくれて、7位を取れた時タイムはどうであれとても嬉しかったです。県大会ではハードルで当初考えていた歩数で走り切って58秒前半、400でラストのスピードを改善して51秒台、マイルもラップタイムを縮め、3分30秒を切りたいです。」



渡部【飛躍確実】:「800mで不甲斐ない走りをしたから、取り返そうと思って無我夢中で走った。武野からバトンをもらうときに若干タイムロスしたので、県大会ではこれを修正して臨みたい。」



原田【県で驚かせる】:「幅は国体予選の時と比べ、助走のイメージが固まってきて、だんだん動きもわかってきました。ですがまだ安定しない部分があるので、いつも同じ助走ができるようにしたいです。また、踏切から後に後傾してしまうので、県大会ではそこを意識したいです。入賞することはできましたが自己ベストは出せていないので、県大会では1cmでも自己ベストを更新できるよう頑張ります。マイルは前回よりは最初から攻めることができたのでよかったです。もう少し最初のペースをあげ、次の直線のスピードを上げられるようにしたいです。また、全体的にピッチが遅いので、県大会では全体の走りのリズムを上げられるよう頑張ります。」



松本【動かせる選手】:「初めてのマイルでとても緊張しました。前半はあげることができたのですが後半はバテバテの走りとなってしまいました。これからの練習で足りていない分の体力をつけていきたいです。」

伊藤【未完の大器】:「初めての大会、とても緊張しました。個人種目で2つ県大会に行くのが目標だったので悔いは残りますが、やり投げで入賞できたのは嬉しいです。しかし、重心移動や肘の動き、精神面など内容は満足できるものではなく、多くの改善点があると思います。まずは県大会までの残された時間で出来ることを精一杯やり、自己ベストを目指して頑張りたいです。」

井上【長距離の救世主】:「南部地区大会では練習の成果が発揮出来ました。今の自分に満足せず、県大会では1500m・3000mどちらも自己ベスト目指して頑張ります。」

